

投資指南

券長 証券情報室
地調 裕 恭
調査 森



能美防災(6744)に火災を予兆レベルでは火災報知設備、消火とらえることができる。全体の売上高営業利益は11・7%に達して

展開された代理店網に増加すると思われる。よるメンテナンスサーデータセンターでの火災は広範囲にサービスを取り巻く環境は、障害を起こす可能性が新築着工床面積は減少、あるだけに嚴重な防災傾向だが、火災報知設備はリニューアルを含いて2028年までは、また、政府は来年度、防災庁を設置することを決定している。こうしたこと国内全体に防災意識が高まり、そのことが同社の収益とが同社の収益にプラスに働く可能性

00億円以上、営業利益率12%以上を掲げている。また、配当性向50%も基準にしている。配当は前期76円だった

能美防災

火災対応設備を一貫受注 28年まで好調継続見通し

が、今期は100円を予定している。株価は3700円台で、年初来高値近辺で推移している。なお、同社の発行済株式数の50%超をセコムが保有しているため需給面でも思惑が広がっている可能性がある。

み処理場、空港といった大規模物件にも個別にシステムを開発して納入してきた。近年ではデータセンターや半導体工場向け

前期の売上高1336億円の内訳をみると、ゆる火災発生状況を想定すれば、日本のデータセンターの数は欧米に比べ、まだまだ少なく今後は急ピッチで建設が

同社の強みは、あらかじめ定される。一例を挙げると、日本では29年3月期をメドとして中期経営計画がある。それが売上高17